

## 桃山陵墓地 東側法面排水整備工事に伴う立会調査

桃山陵墓地は京都市伏見区桃山町古城山に所在し、域内には明治天皇伏見桃山陵、昭憲皇太后伏見桃山東陵、桓武天皇柏原陵の三陵が含まれる。総面積は約90万 $\text{m}^2$ で、伏見城（木幡山城）内郭の大部分が包含される。

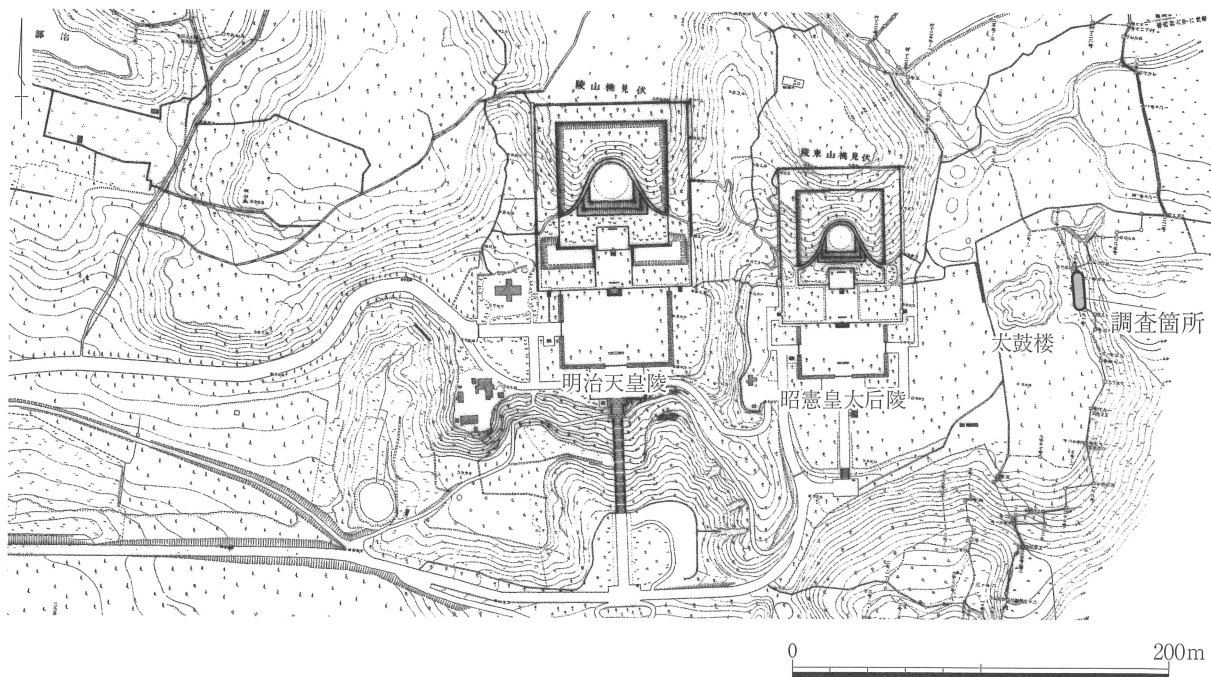
当陵墓地の東側の境界周辺（具体的には境界標石190号～192号間周辺）<sup>(1)</sup>では、平成25年秋の集中豪雨時に崖面が小規模の崩落をおこし、土留板を設置したり、ビニールシートで覆ったりするなどの応急的な措置が現地を管理する桃山陵墓監区事務所の職員によっておこなわれていた。しかし、それでは根本的な解決策とはならないことから、今回、崩落部分を切り取り、崖面に水抜きパイプを打ち込む工事をおこなうことで、当該地の整備をめざすこととなった。そのため、切り土をおこなうなど、掘削を伴う工事が施工される際に立会調査を実施した<sup>(2)</sup>。

工期は平成28年12月10日から平成29年2月28日で、立会調査は平成29年1月16～20日の5日間実施した。

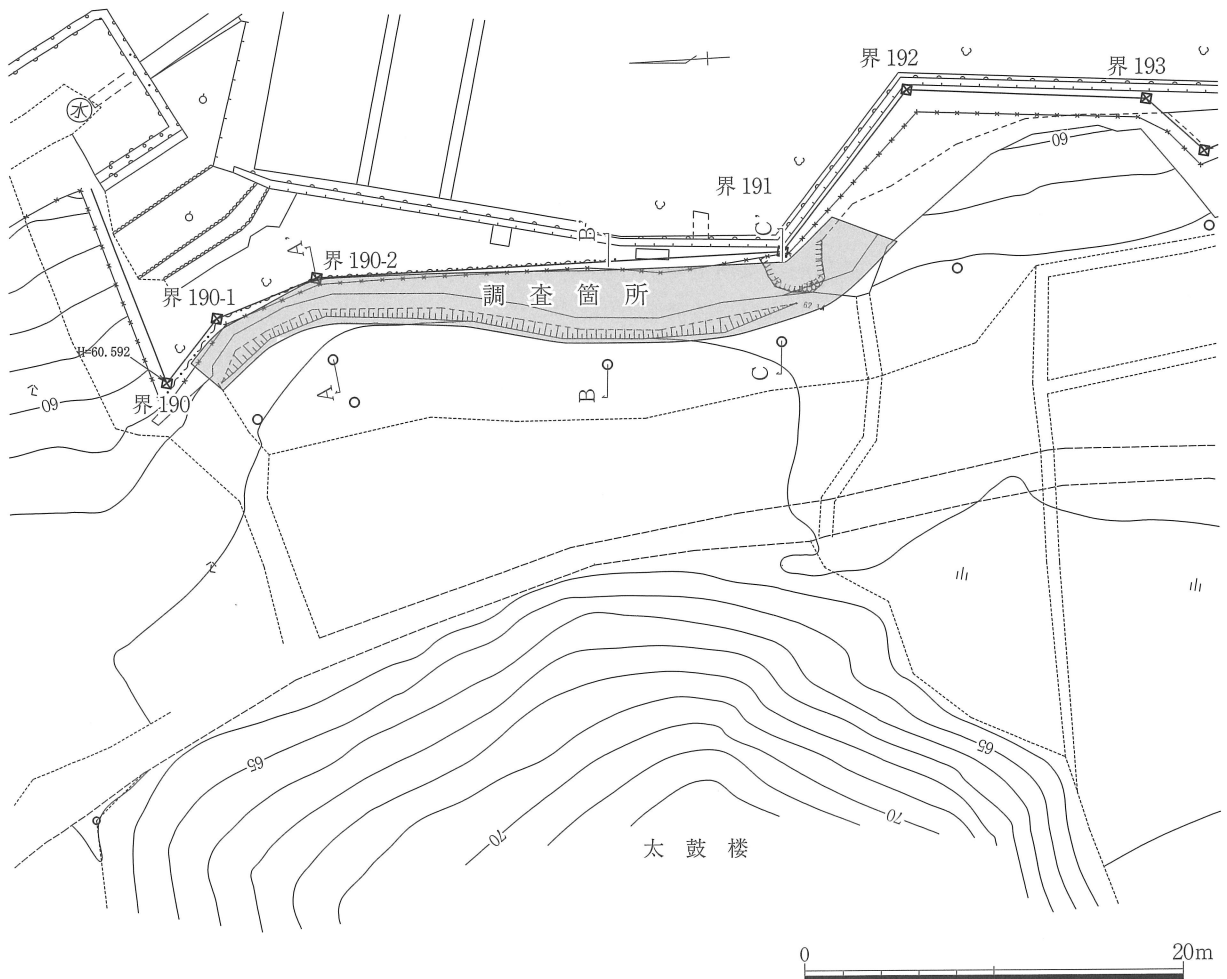
調査ではまず、掘削に先立って掘削予定箇所の現況をおおまかに測量した。その後、バックホーによって崩落によってずり落ちた部分の切り土（掘削）がおこなわれた。この掘削は約40mにわたり、もともと崖面であったこともあり高さは最大で約3.5mにおよんだ。

確認された土層は、地山と見間違ふような明黄褐色土（しまりなし）のみであり、瓦片3点がこの土層から出土している。この土層は付近の地山を削りだすことで形成されたもので、おそらく伏見城造営にかかわる造成土と考えられる。出土した瓦は小片であるものの、時期的には伏見城に伴うものとみて間違いはない。となると、伏見城造営にかかわる造成土とする土層の評価と不整合をきたすようにも思われるが、伏見城の築城にあたっては大規模な造成が複数回にわたっておこなわれたものと考えられるので、その過程で造成土内に少量の瓦片が混入することもありえたと判断する。なお、このような状況から判断して築城時に設置されていたと考えられる石垣はすでに取り払われてしまったものと推測される。

これらのことから工事は問題なく施工できるものと判断し、掘削の後に直径3cm×長さ3mの水抜きパイ



第1図 桃山陵墓地 調査箇所位置図 (1/4,000)



第2図 桃山陵墓地 平面図 (1/400)

イブを75cm間隔で上下3段に計41本崖面に打ち込むこととなった。その打ち込みには掘削で使用したバックホーを使用した。立ち会っていた範囲ではすべての打ち込み時において、すんなりと何の抵抗もなく打ち込むことができていることを確認した。このことから、確認された土層が地山起源の非常に混入物の少ない造成土であることが裏付けられよう。

上でも述べたように、今回の調査で出土した遺物は瓦片3点である。いずれも平瓦の破片と思われ、慎重に洗浄をおこなったが、金箔の付着は確認できなかった。また、この3点のうち1点で楔状の刻み目がみられるほかは、製作技法などの痕跡を確認することはできなかった。

なお、調査地の西に隣接して太鼓楼と呼称される大規模な土壇が存在する。近年、この太鼓楼について、大阪層群の礫層帯が露出していることから、人工的な盛土ではなく、地山を削り出すことで成形されたものであることが指摘されている<sup>(3)</sup>。現地を確認したところ、確かに大阪層群と判断できそうな箇所を確認することはできたが、層として連続しているものとみなすことは難しいようにも思われた。

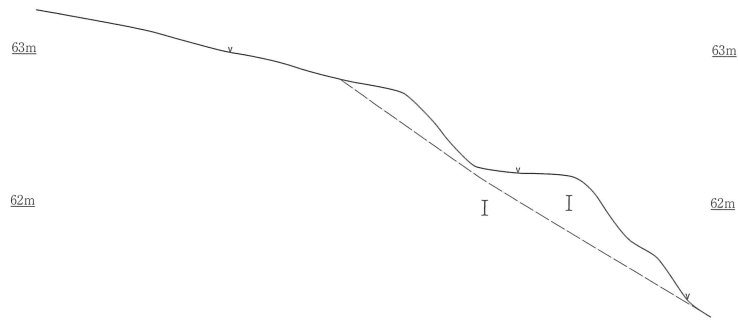
伏見城の築城は、常識では考えられないような大規模な土木事業であったことが明らかになりつつあるが、太鼓楼の成形方法の判断については今後の知見の増加にゆだねたい。(加藤一郎)

註

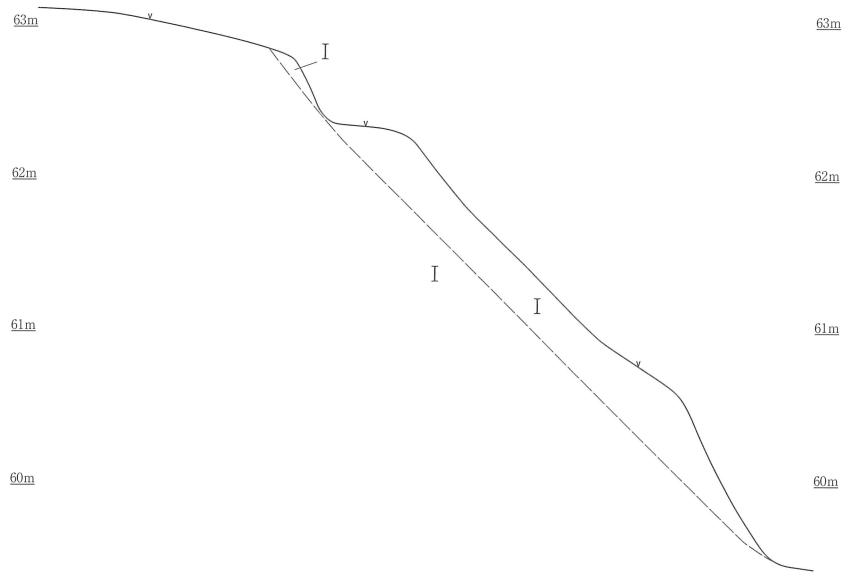
(1) 調査箇所は加藤次郎氏の復元案によれば、曲輪でいうと山里丸の東縁辺にあたり、東大手門の南側、太鼓楼の東側に位置することになる。

加藤次郎『伏見桃山の文化史』、私家版、1953年。

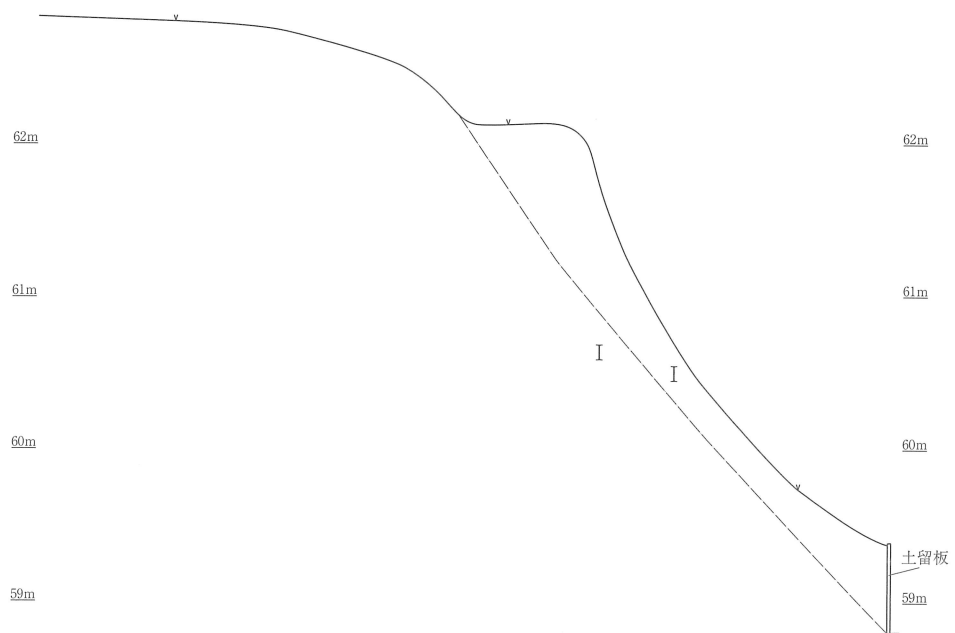
A A' 間断面図



B B' 間断面図



C C' 間断面図

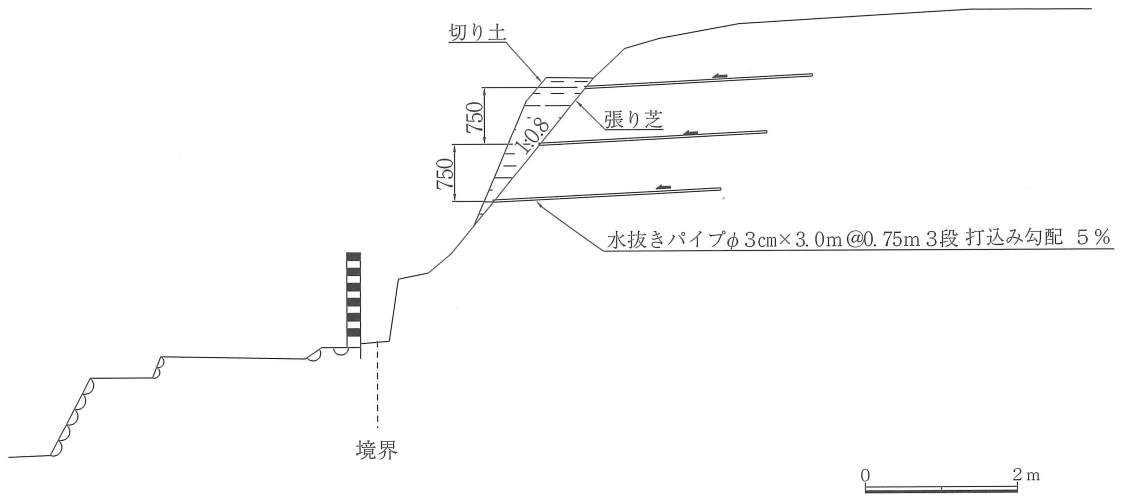


I 層 近隣の地山を削った造成土



第3図 桃山陵墓地 断面図 (1/50)

- (2) 調査にあたっては、京都府教育庁文化財保護課の中居和志氏、京都市文化市民局文化財保護課鈴木久史氏からご指導・ご教示賜った。記して謝意を表したい。
- (3) 中居和志「123 伏見城跡」『京都府中世城館跡調査報告書第3冊—山城編 1—』京都府教育委員会、2014年。



第4図 桃山陵墓地 施工図 (1/100)



写真1 桃山陵墓地 調査箇所全景 (掘削前)



写真2 桃山陵墓地 調査箇所全景 (掘削後)



写真3 桃山陵墓地 瓦片